

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15106009	乾政宮の復原的研究 ―ユネスコ世界遺産・フエの歴史的建造物群の保全計画―	中川 武（早稲田大学・理工学術院・教授）	B
<p>途上国における大規模な現地調査は、対象国の各種情勢や共同研究組織の事情によって当初計画通りに進めることが困難であることは容易に想像できる。ましてや対象が世界文化遺産に登録されており、観光の圧力も高いという状況ではなおさらである。本研究もそうした事情を反映してか、当初想定されていた研究目的の①勤政殿区域の発掘調査、②勤政殿区域の復原模型の制作はいずれも未達成である。相手国との調整が遅延したため、中間段階において、再建計画を支える8点の基礎研究項目、乾成宮復原に関する5点の応用研究項目へと研究方針が縮小変更されている。</p> <p>また、これらの研究項目のうち、基礎研究項目に関しては概ね達成しているが、応用研究項目に関しては、部分的な進捗に止まっている。また、それらの研究成果の発表も数多く発表されてはいるが、調査報告レベルに止まっており、本格的な論文の形では未発表である。この点に関しては、今後の進捗とそれによる学問的貢献に期待したい。</p> <p>一方、本研究が日越の文化交流に寄与した面は大きく、この点は高く評価できる。</p>			